



落合 康之 議員



一国二制度について

問 今をさかのぼること17年、平成16年11月17日に開催された第10回合併協議会において廃棄物処理計画が審議され、調整内容として平成20年度を目途に再編すると決定。ごみ収集の方法については当面は現行の通りとし、合併後新市において再編すると決定した。

しかし、実際は平成21年に私が一般質問を行うまで、旧古河地区の可燃ごみの収集回数は

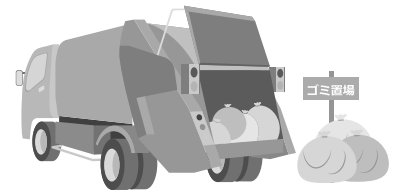
週2回のままであり、3地区での収集回数も不揃いのまま一般廃棄物処理基本計画が策定されたのも平成21年のことである。

合併して16年。針谷市長になって5年が経過したが、一國二制度の是正に向けてどのような取り組みをしてきたのか。

答（市長） 市長になって、さしま環境管理事務組合の副管理者という立場になり、管理者会、副管理者会の中で、古河市のごみの一元化のために、さしま環境事務組合の寺久でのごみの受け入れを申し入れしている。その後、最終処分場をどこに造るのかという問題があり、ごみ処理ではこれが最重要視される。次に処理施設、収集の仕方あるいは分別の仕方という順番に

なってくる。

私は議員時代から、ごみの一元化は必要であると考えており、市長になってからもその思いは変わっていない。しかしながら、さしま環境管理事務組合は2市2町の相互理解が深まらないことには最終決定に至らないというのが現実である。ごみの一元化については進めていく。



《その他の質問》

- ・古河駅東部土地区画整理事業について



長浜 音一 議員



農業基盤の強化策

問 実質化された人・農地プランの推進、農業者団体と該当する地域・地権者との連携について伺う。また、実施に当たっては、都市計画区域における市街化区域と市街化調整区域、農振地域、経営規模、専業・兼業による農業形態等に区分けして取り組む必要があるが、見解を伺う。

答（産業部長） 人・農地プランを公表したことにより、さらな

る区分が必要だと考えている。関係団体等と連携を取りながら、施策を展開していきたい。

教員の長時間労働の改善策は

問 教員の長時間労働の改善策は、働き方改革による時間外勤務削減である。子どもたち一人一人が輝く教育には、教育活動指導員等の配置のみでは、限界領域にある。教員の定数増なくして本質的な問題解決に至らず、国・県への積極的な要望をすべきであるが、見解を伺う。

答（教育長） 創意工夫をしながら教員の勤務時間削減に取り組んでいきたい。予算については教育長会議で要望しており、粘り強く要望をしていきたい。

主要事業の推進体制の現状と今後

問 各事業はプロジェクトとしての体制が取れているか。また企画・計画・実施に当たって、誰がどこで議論して意志決定をしているのか。さらに事業の達成年度、目標設定等、進捗管理は明確か。市民の参画に対する見解は。以上について問う。

答（企画政策部長） 主要事業の一つ一つが市の魅力向上や持続可能な都市づくりに向けた大切な事業である。推進体制にも配慮し事業実現に努力していく。

